

ありのままの姿が壁をつくらない

国際交流員ベルテ・デーナさんが任期を終え離任



市国際交流員のベルテ・デーナさんが任期を終え、つがる市とお別れすることになりました。デーナさんは平成19年8月につがる市に着任し、市長の通訳、バス市との姉妹都市交流、国際交流イベント、在住外国人の生活支援、広報つがるのコラムの執筆など3年間つがる市の国際交流・国際化のために活躍しました。つがる市での3年間の思い出や国際交流員という視点から見た「つがる市」についてインタビューしました。

—最初に つがる市に来た時の印象を教えてください。

びっくりするほど何もない田舎だと思いました。津軽平野がずっと広がり、景色が一面見渡せるのが印象的でした。あと岩木山もきれいでした。

—生活面で大変だったこともあったでしょう。

初めての一人暮らしだったので最初は大変でした。扇風機を買って、日本語の説明書を見ながら自分で組み立てて完成した時は自信がわきました。今でもその扇風機を見れば来た頃を思い出します。

—国際交流員の仕事で印象に残っていることは何ですか？

たくさんあって一つに絞るのは難しいです。保育所訪問は、最初どうやって教えればいいのかからなくて困りましたが、始めてみると、子どもが一番正直なので、気分がさっぱりしました。バス市の派遣と受入は毎日通訳、コーディネートが続き大変だったけどやりがいがありました。

—津軽弁には苦労したと思いますが、どうでしたか？

今もわからない言葉が多いですが慣れてきて良かったです。最初は日本語も自信がなかったし、津軽弁もわからなくて、大変でした。特に聞き取るのが難しかったです。車力に住んでいた時、近所の人から遊びに来てと誘われましたが、家の人の話がわからないと困ると思い、ありがたかったけど、行けなかったのが、今でも申し訳ないと思っています。

—つがる市に3年間暮らして感じたつがる市の良い点は？

やっぱり「人」ですね。皆があたたかく、やさしい。何も知らない外国人をやさしく受け入れてくれた「人々」です。そしてとても住みやすい。田舎は都会より住みやすい場所が多いと思います。

—逆につがる市の困った点は？

冬の天気だけです。今も慣れてないです。今年も毎日雪かきをしました。冬だけでなく春や秋も寒くて風が強い日がありますね。でも逆に天気がいい日はそのありがたみを感じて、外にずっと居たくなります。

—つがる市が国際化が進んでいると感じた部分はありますか？

みんなやさしく、歓迎している気持ちがあると思います。積極的ではないかもしれませんが、バス市訪問団、JET青年、米



馬市まつりにも参加



国際交流DAYのステージでジャズダンスを披露



市内保育所や幼稚園を訪問し、英語や外国文化に触れ合う活動を続けた



ハロウィンかぼちゃ作り教室の講師を務める



福島市長の通訳を務める



つがる市を訪れたバス市長夫妻と



バス市民とつがる市民の交流を支える

つがる市のみなさん、ありがとうございました。

Dana A. Berte



ベルテ・デーナ・アレーネ
DANA ALANE BERTE
米国マサチューセッツ州出身
1984.11.18生
趣味はダンス、音楽
好物はホヤ、馬刺し

軍関係者が来た時はとてもやさしく歓迎してくれました。私の経験ですが、大都市では、私が日本語で話してもほとんどの方が私に英語で話します。でもこの人の多くは、津軽弁で普段のまま接してくれます。それは英語の自信がないからかもしれないが、外国人だからといって特別ではなく、普通にありのまま接してくれ、それが逆に壁をつくらずいいことだと思います。

— つがる市がより国際化を進めるために必要なことは何でしょうか？ —

最近バス市との国際交流プログラムに参加する人が少ないのは、残念です。国際交流のいいチャンスですからありのまま、普段のままで積極的に参加して欲しいですね。英語能力と国際化は別だと思えます。心の触れあいが大切。英語ができる人でも外国のことをわかっていない人もいますし、逆に英語はできなくても外国人の友達がたくさんいる人も知っています。

— 今後の進路は？ —

酒造に興味があって、高知県の酒造会社に就職することになりました。翻訳や通訳、海外との取引などに関する仕事をしたいと思います。

— 最後につがる市民にメッセージをお願いします。 —

3年間私にとって素晴らしい経験ができました。つがる市のみなさんどうもありがとうございました。



市民向け英会話教室では英語を教えながら自らも交流を深めた



市民の集会で日米の文化の違いをスピーチ